

**2025(令和7)年度 低学年向けキャリア支援プログラム
「ガクチカ」を作る3ステップ！～私の“ストーリー”を描いてみよう～
第2回「深掘り編:わたしの『ガクチカ』を探る」実施報告**

実施日時: 2026(令和8)年1月19日(月)18:00～20:00
実施場所: キャンパスポート大阪(大阪市北区梅田1-2-2-400 大阪駅前第2ビル4階)
講師: 和泉市役所 市長公室 人事課 主事 阿南 ゆき氏
株式会社エイジェック 官公庁・自治体 BPO 事業統括本部 木村 歩実氏
ナビオコンピュータ株式会社 ソフト開発関西本部 ソフト開発第2部 小笹 恋氏
ファシリテーター: 追手門学院大学 WIL 推進センター センター長/共通教育機構 特任准教授 大串 恵太氏
参加学生数: 4大学5名
(大学別) 大阪工業大学2名/大阪産業大学1名/大阪女学院短期大学1名/大阪電気通信大学1名
(学年別) 1年生:3名/2年生:1名/3年生1名
企画・運営: 大学コンソーシアム大阪 キャリア支援部会 インターンシップ推進委員会

1.事業趣旨

本プログラムを通じて、バラエティに富んだ体験・成長のための表現(アウトプット)機会を提供し、学生における学修の深化および新たな学習意欲、そして低年次より自己の職業適性や将来設計について考える機会を提供する。それにより、将来に対する選択肢の増幅および多角的・俯瞰的視点の獲得、自己理解に基づく主体的な職業選択や高い職業意識の涵養をはかり、ひいては自主性・独創性あるグローバル人材の育成に貢献することを目指す。また、プログラムを通じて学生が大阪の産業構造を知り、府内の中小企業の魅力に触れる機会を提供する。

2.プログラム概要

日程	会場	内容
1月19日(月) 18:00～20:00	キャンパスポート大阪	・プログラム趣旨説明 ・講演 ・グループワーク ・学生による感想の共有と講師からの講評 ・総括

3.講演概要

■和泉市役所 阿南 ゆき氏

大阪府南部の和泉市役所で税務を経て、現在は採用担当として勤務している。大学時代の就職活動では、企業や職種を現実的に考えながら自己PRを模索した。当時は消極的な面があったため、海外ボランティアなどの大きな成果を求めるのではなく、長所を伸ばし短所を克服することを目標とし、さまざまなアルバイトに挑戦した。好奇心旺盛で体を動かすことが好きという強みを生かしつつ、人前で話すことや年上との会話、臨機応変な対応の克服を目的に、地元塾で個別指導講師を務めたほか、スポーツイベントやライブ運営、土木関係の仕事にも携わり、幅広い世代と関わる経験を積んだ。これら



の経験はガクチカとして自己 PR や面接で具体的なエピソードとなり、短所克服や人物像の裏付けにつながった。

また、ガクチカは社会に出てからも役立ち、現在の職場でも幅広い世代とのコミュニケーションや採用イベント、職員募集の場で生かされている。人事担当の立場から見ても、ガクチカは面接における他者との差別化において重要であり、学生時代の経験が豊富であれば、長時間の面接でも話題に困りにくい。

大学3年生以降は就活に加えて、研究活動や卒業論文もあるため、低学年のうちにこれまでの経験や活動を振り返り、今後何に取り組むかを考えておくことが望ましい。ガクチカのために無理に大きな成果を挙げる必要はなく、必ずしも新しいことに挑戦する必要もない。自分に合った形で少しずつ積み重ねた学びや経験が、その後の就活に大きく役立つ。

■株式会社エイジェック 木村 歩実氏

人材総合企業であるエイジェックに専門職オフィスサービス職として入社し、市役所の窓口業務などに従事した。業務に役立てるためファイナンシャルプランニング3級を取得し、現在は総合職として行政総合事業部で勤務している。

就職活動において重要なことは「業界・企業分析」と「自己分析」で、業界・企業分析は、なぜその業界や企業を志望するのかを具体的に説明するために行う。

また、自己分析は自身の強みや経験を整理し、アピールポイントを明確にするために行うものであり、学生時代に力を入れたこととして、ガクチカも重要な自己 PR の要素となる。

自身の例を挙げると、オフィスサービス職を希望する場合に求められる能力は、接客力、対応力、パソコン操作などで、高校時代のテニス部で培った継続力やリーダーシップ、アルバイトでの電話対応やレジトラブル対応、柔軟な業務対応などの経験が自己 PR として活用できた。これらの経験を通じて接遇力や対応力を身につけ、多世代との関わりも経験したことが、現在の業務にも役立っている。

また、ガクチカは一つに限定せず、応募する職種に応じて内容を調整することが重要である。自己アピールの内容が応募職種に適しているかどうかは特に特に留意すべき点であり、企業はガクチカが職種に合致しているかを重視している。そのため、企業ごとに内容を工夫して作成することで、「自社のことをよく理解している」「自社に適した人材である」と感じてもらいやすくなる。手間はかかるが、企業や業種ごとに志望動機やガクチカを工夫することが、就職活動を有利に進めるポイントである。



■ナビオコンピュータ株式会社 小笹 恋氏

大学では栄養学を専攻し、卒業後に管理栄養士の資格を取得して病院に勤務した後、現所属先へ転職した。就職活動では自己分析を行い、長所と短所を深掘りして、向上心とコミュニケーション力をアピールポイントに設定した。さらにそこから、大学生活の中心となる活動であり、自分の思考や感情が動いた経験として、「勉強」と「アルバイト」をガクチカの軸に定めた。

勉強を通じて根気強さと向上心が身に付き、管理栄養士の国家資格に加え複数の資格が取得できた。集中力が続かないという短所も、勉強場所や内容を工夫して克服し、対応力も身につけた。また飲食店でのアルバイトでは、コミュニケーション力と適応力を培った。店舗では居心地の良い空間づくりや相手に合わせた声かけを徹底し、その結果、口コミで高評価を得るとともに、同僚との信頼関係を築き、トラブル発生時にも落ち着いて対応できるようになった。これらの経験から、コミュニケーションは自ら積極的に行動することで成り立つものであると学んだ。



就活の面接時は結果より過程に重点を置き、「なぜその結果を得られたか」「どのように行動したか」を具体的に説明できるよう準備した。また、喜びや失敗などのエピソードを複数用意し、職種に応じて選択することで、行動や学びを明確に伝えるよう心がけた。

ガクチカで培った向上心は、幅広い分野への挑戦と学び続ける姿勢として、就職・転職後の資格取得や業務理解の深化に活かされている。また、コミュニケーション力を活かし、分からない点は上司に相談しながら主体的に問題を解決し、社内交流を通じて信頼関係を築くことで、業務を円滑に進めることができています。その結果、開発以外の幅広い業務も任されるようになった。

皆さんには、学生時代にしかできない経験を大切に、今のうちに旅行やアルバイト、学割を活用したさまざまな体験に積極的に挑戦してほしい。こうした経験は、将来の仕事やプライベートにおいて、挑戦を恐れない姿勢につながるはずである。

4.グループワーク(概要)

講師の講演を踏まえて知見を深めた後、以下の2つのテーマでグループワークを行い、講師や学生同士による意見交換を行ったうえで、グループ代表者による全体発表を行った。

- ・講演を聞いて考えたことや感想、講師への質問
- ・現在自身が取り組んでいることや今後の目標

5.当日の様子



6.参加者アンケート

別紙のとおり

2025(令和7)年度 低学年向け キャリア支援プログラム 第2回 参加者アンケート

参加者数 4大学5名(回答者数 5名、回答率100%)

1. プログラム全体の満足度

(単位:名)

満足	5
概ね満足	0
満足できない点があった	0
不満	0

プログラム全体の満足度



上記と回答した理由

【満足】

- ・ 自分の悩みを少しだけ解消することができたと思ったから。
- ・ すごく貴重なお話とアドバイスを頂いたため満足した。
- ・ 年齢が近い方の社会人としての話や就活のことなどを聞くことができ、就職活動の糧とすることができた。
- ・ ガクチカについてよく知れたし、こんな企業もあるのかという新しい発見や新たな方向性を見出せた。
- ・ 勇気をもらった。

2. 今後のキャリア選択に役立つか

(単位:名)

そう思う	4
どちらかといえばそう思う	1
どちらかといえばそう思わない	0
そう思わない	0

今後のキャリア選択に役立つか

どちらかといえばそう思う
20.0%



3. 各プログラムについて

(1) 講演について

(単位:名)

参考になった	5
概ね参考になった	0
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0

講演について



上記と回答した理由

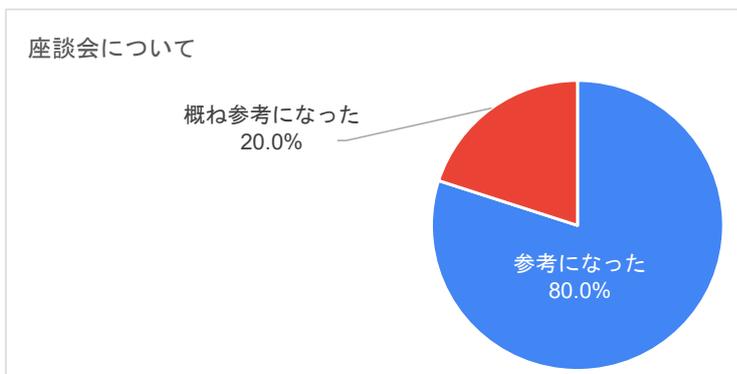
【参考になった】

- ・ ガクチカの話をも具体的にすることができたから。
- ・ 資料もありイメージしやすい講演でとてもよかった。講演者の方のストーリーがそれぞれ違っていたので参考になった。
- ・ ガクチカについての認識が間違っているところにも気づけた。
- ・ 踏み出す勇気もらった。
- ・ よかったから。

(2) 座談会について

(単位:名)

参考になった	4
概ね参考になった	1
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0



上記と回答した理由

【参考になった】

- ・ 自分の悩みを質問してそれを解消することができたから。
- ・ ガクチカについてよく知れたし、こんな企業もあるのかという新しい発見や新たな方向性を見出せた。
- ・ 自分の課題が浮き彫りになった。
- ・ とてもよかったから。

【概ね参考になった】

- ・ グループ固定で一人の方と深く話すことができたのはとてもよかった。しかし、ローテーションで回りたいかった。

4. その他、プログラムの感想・意見

- ・ すごくよいプログラムだと思いました。